

# 校長室だより

11月号

## ☆運動会 無事開催できました！

19日(日)の運動会には、たくさんの保護者の方、地域の方々にお越しいただきありがとうございました。前日からの雨で例年通りグラウンドの状態も悪く、恒例の水吸いと土入れの作業からはじまりました。学校運営協議会委員の皆様と地域の皆様、保護者の皆様のお陰で運動会が開催できました。本当に感謝しています。ありがとうございました。



子どもたちはこの日のために約3週間毎日練習を重ねてきました。「かっこいい姿を見てもらいたい」「ほめてもらいたい」「頑張って走る姿見てほしい」それぞれの思いをもって本番を迎えました。少しの緊張とわくわくした気持ちとがまざった子どもたち。どの子もとてもいい表情でした。本当によく頑張りました。高学年の子どもたちは係活動も頑張ってくれました。頼もしい高学年です。仲間と協力して作り上げた運動会。この経験でまた一つ成長できたことでしょう。

## ☆教育長が学校訪問されました！

教育長と教育委員会の方々が授業の様子を見学するために学校訪問されました。子どもたちが落ち着いて授業をしている様子や主体的に授業に取り組んでいる様子を見てもらいました。「先生方も明るく、子ども達も元気でいい学校ですね。」と褒めていただきました。

## ☆頑張っている自分に…

谷川俊太郎さんの代表作『生きる』は、“日々のあたりまえ”の中にある「幸せ」や「生命の輝き」を教えてくれる詩です。子育てをしていると、つい「ちゃんとしなきゃ」「もっと頑張らなきゃ」と自分を追い込みがちになります。でもこの詩は、「のどがかわいた」「くしゃみをした」——そんな小さなことさえも“生きている証”だと教えてくれます。子どもの笑顔や、少しの成長。朝の「いってきます」や夜の「おやすみ」。それらひとつひとつが、いまこの瞬間を生きている喜びなのだ気づかせてくれるのです。

季節は秋から冬へ。日が短くなり、疲れやすい時期でもあります。どうか深呼吸をして、“いま”を大切に。今日も頑張る自分に、心の中で小さく「ありがとう」と伝えてみてください。

## ☆今月の詩

左が低学年用で、右が高学年用です。2学期のチャレンジは今月が最終です。(12月は今まで合格できていない分の再チャレンジ月間のため。)合格めざしてがんばってほしいです。

ガラスのかお  
三井ふたばこ  
おやおや こまった ないちやうよ  
おふろの ガラスに かいதாக  
みんな なみだを ながしちやう  
わらった かおまで ないちやうよ  
おやおや こまった ないちやうよ  
おふろの ガラスに かいதாக  
みんな そろって ないちやうよ

『生きる』 谷川俊太郎

(詩集『二十億光年の孤独』より一部引用)

生きているということ  
いま生きているということ

それは のどがかわくということ  
木もれ陽がまぶしいということ

ふっとあるメロディを思い出すということ  
くしゃみをする

あなたと手をつなぐこと

吾輩は猫である  
夏目漱石  
吾輩は猫である。  
名前はまだない。  
どこで生れたか  
とんと見当がつかぬ。  
何でも薄暗いじめじめした所で  
ニャーニャー泣いていた事だけは  
記憶している。  
吾輩はここで始めて  
人間というものを見た。